

令和3年度 第1回草津市行政経営改革推進委員会 会議録

■日時：

令和3年7月7日（水） 午後1時30分～3時30分

■場所：

市役所5階 502会議室

■出席委員：

黒川委員、今里委員、中委員、井上委員、田村委員、竹村委員、中嶋委員、谷口委員

■欠席委員：

伊藤委員、吉田委員

■事務局：

堀田総合政策部理事、経営戦略課 小川課長、村木係長、寺田主査

■傍聴者：

なし

開会

1. あいさつ

【堀田総合政策部理事】

委員の皆様におかれましては御多用のなか御出席を賜りまして厚く御礼申し上げます。

皆様には、今年度から開始しました草津市行政経営改革プランの着実な実行と改革の成果を確実なものとするため専門的な見地から、また市民の視点で幅広く御意見をいただきたく委員として委嘱させていただいたところでございます。

御承知のとおり、我が国は人口減少社会に突入り国の進める地方分権や地方創生などによる都市間競争が進む中、各自治体は地域の課題を見抜き、時期を逸することなく都市としての質や魅力を高めるための投資が求められており、本市でもこれまで草津川跡地公園のai彩ひろばやde愛ひろば、また、くさつシティーアリーナや今年5月の連休明けにはJR草津駅東口近くに市民総合交流センターを開設したところでございます。

また、現在は市立プールの整備等にも取り組んでいるところでございます。

なお一方、事業の実施にあたっては、財政的な見地から将来負担の影響や各種財政指標の推移などトータルの観点で的確に将来を見通すことが重要になってきております。

草津市行政経営改革プランでは、未来への責任を改革理念とし、自律的な行政経営を改革の方向性としております。

よりよい状態で未来へ引き継いでいけるよう、公民連携手法の活用や既存事業の見直しなどを通じて市民サービスを安定的かつ継続的に提供し、市民福祉の向上を図って参りたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、行政経営改革の推進に何卒格別の御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 委員の自己紹介、事務局の紹介

<資料1 各自 自己紹介と挨拶>

3. 草津市行政経営改革推進委員会について

<資料2 附属機関設置条例と規則について説明>

4. 今年度の委員会における議題および進め方について

<資料3 今年度の草津市行政経営改革推進委員会における議題および進め方を説明>

5. 委員長、副委員長の選出について

互選により、黒川委員を委員長に、今里委員を副委員長に選出。

6. 草津市行政経営改革プランの実施計画について

【事務局】<資料4、様式1、様式2に基づき説明>

中 委員：様式2、No.4のスケジュールの最下段に記載の「国等からの回答結果の把握・分析・活用」とタスクの「国・県の検討結果の全庁周知」の関連は。

事 務 局：草津市の各所属から行った提案に対して、国等から検討結果が返ってくる。草津市の提案だけでなく、すべての提案に対する検討結果を全庁的に周知することで各所属での検討結果を踏まえた業務改善を促すものです。

田村委員：行政経営改革プランの上位計画として総合計画があるとのことだが、総合計画との関係がわからない。

事 務 局：次回、総合計画の体系図等を提示させていただきます。

田村委員：行政経営改革プランについては、内容が行政内部の項目が多いように思う。我々委員はどのような視点で意見を言わせてもらえばいいのか。

事 務 局：委員のおっしゃるとおり本プランについては、主に行政の内部事務の改革について記載したものであるが、取組の目的は市民サービスの質の向上である。委員の皆様には、学識経験者として、また、地縁団体の代表者、公募委員など様々な立場で参画いただいていることから、それぞれのお立場から行政の内部改革について御助言をいただきたいと考えています。

田村委員：草津市は一見進んでいるように見えるが、部分的に他市より遅れているところもある。また、説明にあった市民課の番号案内表示の件については縦割の弊害に感じる。取組を検討する際はもっと市民目線で検討を進めてほしい。

事務局：様々な事情があるものの、委員のおっしゃる通り縦割りによる弊害があることは確かである。御意見のとおりこれまで以上に市民目線での取組を進めてまいります。

中嶋委員：行政の内部改革については、経営戦略課が旗振り役をされていると思うが、各所属の温度感や情報共有はうまくいっているか。

事務局：子育て分野など忙しい部署においては、日々の業務を処理することに追われ、現状の体制で自らが業務改革を行うのは難しい現状にあるものの、繁忙部署の職員にもプロジェクトチームに参加してもらうなど、他部署の職員と情報共有を図りながら取組を行っています。

7. 草津市公共施設等総合管理計画の改訂について

【事務局】＜資料5、資料6に基づき説明＞

中 委員：現行計画にクリーンセンター、くさつシティーアリーナは見込まれているか。

事務局：それぞれ計画時の数値を計画に反映しています。今回の改訂で実績値に置き換わります。

今里委員：縦割りの話もあったが、施設類型ごとに面積を検討するのも一つだが、各地域に必要な施設や面積を検討することも必要とを感じるが。

事務局：近年建設している公共施設については計画段階から地域や民間事業者の意見を伺う機会を設けているところです。また、草津市の特徴として市域が非常にコンパクトで市町村合併をしていないことから、他市と比べると恵まれた環境であるものの、人口減少局面が目の前に迫っていることから公共施設マネジメがより一層重要になると考えています。

井上委員：計画の改訂にあたって、草津市の特徴の市域がコンパクトである視点を盛り込めるといいのではないか。

事務局：いただいた視点をもって改定案を作成します。

谷口委員：道路や橋といったインフラは必要だと思うが、新たに整備するより維持管理していくことの大切さ、大変さを感じた。

8. その他

中嶋委員：提案だが、資料のやり取りや情報共有などをメールで行うというのはどうだろうか。会議資料での疑問を事前に質問したり、その回答を委員間で情報共有できると建設的な議論につながると思う。

事務局：大変ありがたい提案です。会議資料などはメール等を使っておられる方については、次回からメールでの送付とさせていただきます。

委員長：コロナの状況も今後どうなるか不透明である。過去の委員会についてもWEB会議などを利用して開催してみてもどうか。

事務局：次回以降は現地に来ていただく方とWEB会議の併用での開催で準備を進めさせていただきます。

閉会

【堀田理事】

本日は様々な方面から、活発な議論をいただきありがとうございました。
次回以降は御提案いただいた内容で準備を進めさせていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。